

部局等名	推進計画	進捗状況等
政策創造研究教育センター	<p>I 基本方針 熊本大学男女共同参画推進基本計画に掲げる事項の推進を図るために、次の基本方針を策定し、この方針に基づき、IIに掲げる具体的な事項の遂行を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 男女の機会均等の実現 2 男女共同参画の視点至った意識改革の推進 3 その他 <p>II 基本方針の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 男女の機会均等の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・教員公募においては、女性教員の採用を積極的に検討する。 ・客員教員及び学外協力研究者に関しては、女性研究者の採用に努力する。 ・業績評価において、出産・育児。介護などに従事したことを考慮する。 2 男女共同参画の視点にたつた意識改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場面で男女が持つ固定的性別役割分担意識の解消を図る。 ・全学の男女共同参画関係のセミナーやシンポジウム等の案内があった場合、メールで積極参加を促し、7割以上の教職員（12名中8名以上）が1度は参加することを目指す。 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・その他の項目については、熊本大学男女共同参画推進基本計画および熊本県男女共同参画推進委員会の決定事項に準拠し、具体的な方策を講じる 	<p>当センターは平成20年度より女性客員教授1名を採用し、さらに翌21年8月には女性准教授を専任教員として採用した。以降、女性教員は積極的に男女共同参画推進に関するイベントに参加していたが、平成22年7月より男女共同参画推進コーディネーターに就任した。その後は、全学的な男女共同参画推進に関する取り組みについて企画および実施に関わっている。さらに、平成24年度には熊本市から受け入れる政策研究員に初めて女性が採用され、構成員に占める女性の割合が高まった。その後、平成26年には女性政策研究員は熊本市に戻ったが、平成25年度内（平成26年1月）から特任助教に女性研究者を採用した。</p> <p>平成27年度の男女共同参画推進に関わるセミナーやシンポジウムの参加に関して、構成員用務との兼ね合い等の理由から、昨年度に引き続き参加率の目標値を満たすことができなかった。</p> <p>全学的な取り組みの中では、平成25年度に本学が科学技術振興機構に採択された大学コンソーシアムとの連携による女性研究者支援事業の推進に貢献した。</p> <p>センター内部の男女共同参画の取り組みについては、構成員が少ないため体系的なものはないが、男女に関わらず積極的なワーク・ライフ・バランスを保つことができるような促しと制度の活用を継続的にしている。</p> <p>センター内で、男女共同参画推進コーディネーターから男女共同参画やワーク・ライフ・バランス推進のための啓発・教育機会への参加を積極的に呼びかけ、センター内のさらなる意識向上に努める。現段階では、センター内では専任教員の構成や規模が大きく変わる計画はないが、特定事業の研究者の採用に関して女性研究者の採用も念頭において進めていく。また事業の企画においても、社会における女性の活躍を積極的に顕在化させることを意識していくこととした。</p> <p>学内セミナーおよびシンポジウムへの参加については、継続的に目標参加率を7割と設定し、全構成員が少なくとも一度は出席するように呼びかけを継続する。</p>